

は
ち
み

<https://hacchi.jp>



vol.35

このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…
「はっち」が贈る、おいしい情報。

長根公園

八戸のスポーツの拠点

八戸市長根屋内スケート場

氷都八戸の新たなシンボルが誕生

2019はっちマチニワリポート・こどもはっち・八戸まちの人
イベントリポート・パパとリトミック・まちで頑張るあの人



PARK MAP

長根公園



はっちから歩いてわずか 5 分のところにある運動公園「長根公園」。中心街にある交通アクセス抜群のまちのオアシスです。広さは東京ドームの 3.5 倍! 公園の周りには約 170 本の桜が植えられ、春にはソメイヨシノやシダレ桜を楽しめる市内有数の桜の名所でもあります。遊歩道もあるので、季節を感じながらのお散歩にも最適です。

公園内にはトレーニング室や卓球室を備えた体育館を中心に、野球場・

武道館・屋外プールなどが設けられ、1 年中スポーツに親しめる、市民の憩いの場です。2019 年秋には「八戸市長根屋内スケート場 (YS アリーナ八戸)」もオープンしました。八戸だけではなく、全国、世界からの来訪者が増えていきそうです。

2020 年夏、いよいよ東京にオリンピックがやってきます! スポーツ熱も高まる今、「八戸のスポーツの聖地」を訪れてみませんか。

**長根公園
豆知識**

当時の写真を見てみよう!

そんなに寒かったの?!

長根堤

現在はハイキングリンクが当たり前ですが、昭和 43 年まで長根リンクは「長根堤」というため池でした。冬場はその堤が一面凍り、天然リンクに早変わり! 数多くの全国的大会が開催され、夏場にはため池でボート遊びを楽しみました。



中心街にも遊園地があった!

児童遊園地

現在の武道館、弓道場、芝生広場の周辺に、昭和 30 年代から昭和 60 年まで遊園地があったんです。空中ブランコやメリーゴーラウンド、チンチン車のほか、東京タワーの 10 分の 1 の大きさの八戸タワーが町のシンボルとして親しまれました。



八戸のスポーツの聖地

NAGANE PARK

氷都八戸の新たなシンボル 長根屋内スケート場「YSアリーナ八戸」が誕生!!



八戸市長根屋内スケート場
八戸市中央夷隅下3
43-9544
営業時間 9:00~21:00
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）



貸出し道具

貸しスケートも充実！フィギュアやホッケー、スピードなど5種類を用意しています。（1回300円）ヘルメットは無料で貸出しています。



交流サロン



ホワイエ

テーブルや椅子、売店もあり、思い思いにくつろぐことができる憩いの場。貸切利用以外は、開館時間中誰でも利用できます。



トレーニング室

選手も使うような本格的なマシンでトレーニングができます！
(一般利用は1時間あたり、大学生以上300円、高校生以下150円)



中地



ランニングコース



観戦ロビー

リンクの外周にはランニングやウォーキングができる1周約450mのコースが、競技前のアップにも使われます。（一般利用は1回300円）

八戸市長根屋内スケート場に行ってみよう！

2019年秋、長根公園に国内3番目となる国際大会の開催が可能な屋内リンク「八戸市長根屋内スケート場（YSアリーナ八戸）」がオープンしました。長年親しまれてきた屋外のスケート場に変わる、氷都八戸の新たなシンボルとして活用されています。7月～3月はスピードスケートの大会や合宿にも利用され、4月～6月はコンサートや展示会などのイベントでの利用が予定されています。

（利用料金）※1人1回あたり
大学生以上700円／高校生430円／中学生300円／小学生以下180円

私は広報部長や応援団長という気持ちで屋内スケート場に携わっています。施設の特徴やお勧めスポットをご紹介します！



館長から利用者のみなさんへ

屋外リンク時代は選手として、現在は大学のスピードスケート部監督として、長根リンクを長く利用してきた船場さんにお話を伺いました。



屋内スケート場で八戸学院大学の学生に指導する船場さん

高校を卒業すると持ち前のバイタリティでトップの実業団に入りました。高校で優勝に輝きます。「本当に無名の選手が入れるチームじゃなかつたんです。どこのチームにも断られてしまって、ただスケートを続けたい一心で無

いままです。あの頃にずいぶん忍耐力を身につけた気がします」。雪などで練習が中止になることもあります。だから選手にとって毎日決まった時間にトレーニングできる、天候に左右されない屋内スケート場が身近にあることは、とても恵まれた最高の練習環境なんですね。

八戸学院大学スピードスケート部監督 船場 哲也さん

市民の皆さんには屋外にあった長根スケート場の印象が強いため、スケート場は寒いと思われているかもしれません。実は、この屋内スケート場は気温が約13度と一定なので冬場は外よりも暖かいくらいです。風もなく観覧しやすいので、ぜひ一度は見学に来て体感していただきたいです。

リンクの中地にはフットサルやバスケットなどができるコート、そして、リンクの外側にはランニングコースがあります。製氷期間中はスケートしか使用できないと思われている方がいるようですが、スケートの大会期間中などを除けばどちらも利用できます。特に冬期は雪など天候を気にせず運動ができるので、今後、多くの方に利用していただきたいです。

リンク以外のお勧めスポットとして、交流サロン・ホワイエがあります。こちらは9時から20時30分までどなたでも自由に使え、飲食の持ち込みも可能なので、この施設を自分の家のように大切に利用してほしいです。

これまで市内のスピードスケート選手は、市外や国外で合宿することが当たり前だったのですが、この屋内スケート場が完成したことで7月から3月まで地元にいて練習することができるようになりました。いずれ、この屋内スケート場からオリンピックの舞台に立つ選手が育つことを願っています。

最後に「スケートは誰でも気軽に楽しめる」という夢が広がります。皆さんもいかがですか？」とメッセージをいただきました。

最初に「スケートは誰でも気軽に楽しめる」という夢が広がります。皆さんもいかがですか？」とメッセージをいただきました。

こどもはっち

kodomo hacchi

リトミック
とは?

音楽と体育を組み合わせて、遊びながら音楽や体を動かすことの楽しさを感じていてヨーロッパ発祥のプログラムです。動物の鳴き声や動きを真似たり、オリジナルの表現をしたり、音によって自分の動きを変えたりすることから国語や美術の分野とリンクするともいわれ、遊び感覚の中で感性を育てる音楽教育法の一つです。



佐々木さん親子

単身赴任中ですが、今回は日程を合わせて参加できたので良かったです。インディアンになってみたり、音に合わせて動きを変えるところなどは、大人でもちょっと頭を使う一瞬でしたね。こうやって遊び感覚で瞬間に判断をする体験は、子どもにとって自分にとっても貴重な体験だったと思います。

いつもママと参加していますが、今回「パパと」というあまりない機会なので、それならば参加してみよう!と来てみました。普段から一緒に遊んだりコミュニケーションを取っているつもりでしたが、なかなか家ではない動きやコントクトが楽しかったです。なにより娘がいきいきと楽しそうに取り組む姿を見ることができて、参加して良かったです。



月岡さん親子



こどもはっちでは、毎月リトミックのほか 3B 体操などの親子講座を開催しています。

こどもはっち

① 9:30~16:30 (1月2日・3日は10:00~16:30)
② 毎月第2火曜日(祝日の場合その翌日)
年末年始 12/29~1/1
③ 100円(未就学児は無料) ☎ 0178-22-5822
④ <https://kodomohacchi.net>

*混雑時には入場制限をさせていただく場合があります。



1. 「びびすた♪」内のコーナー「はっちi」では、はっちの利用者さんやスタッフのみなさんと話すのが好きなので毎回楽しみにしています。
2. 八戸三社大祭の素晴らしさをもっと広く伝えていきたいです!

(レギュラー出演)
■BeFM (ビーフエム)
「びびすた♪」
日時: 月~金 11:30 ~ 15:00 (金曜出演)
※はっち1階放送スタジオで生放送
'Be morin'
日時: 月~金 7:00 ~ 9:00 (金曜出演)
■青森朝日放送「ソカエルくんのえねタン」
■三沢マックテレビ「マックニュースライン」

2019年に開局20周年を迎えた八戸市のコミュニティ放送局「BeFM」にて、パーソナリティを務めているフリーアナウンサーの橋本麗奈さんにお話を伺いました。出身は青森県上北郡六ヶ所村。幼少期から歌や絵を描くことが大好きで、歌手と漫画家を夢みていたそうです。八戸東高校3年生の時、たまたま目にに入ったミス日本グランプリコンテストに応募すると、書類審査を通して、翌年の全国大会では見事準ミス日本を受賞! そこから芸能活動を始めました。そんな中、フジテレビアナウンススクールでの経験がきっかけでアナウンスの面白さに気づき、青森県内でもイベントの司会をするように。徐々に岩手のテレビ局の冠番組や八戸テレビの契約アナウンサーの仕事も決まり、2011年に拠点を東京から母校の八戸東高校がある八戸市へ移りました。

八戸テレビを退社してからは本格的にフリーアナウンサーとして活動し、その後ははっち1階放送スタジオでの生放送「びびすた♪」でもパーソナリティとして活躍中。「ラジオのパーソナリティの経験が一番のターニングポイントだったかもしれない」と橋本さんは人前で話すことが苦手でした(笑)「びびすた♪」と一緒に司会を務める奈見條史さんとの掛け合いをきっかけに変化が。テレビと違い、音声のみ



File.4

今日も
中心街で頑張る
あのひと

HASHIMOTO
Rena

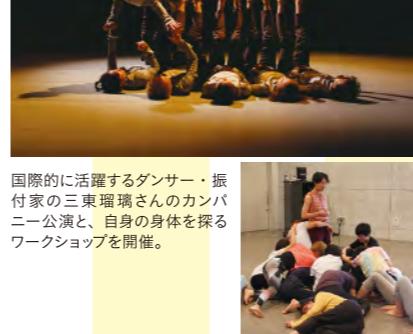
フリーアナウンサー
橋本 麗奈さん

で伝えるラジオの難しさを感じ、悩んだ時期もありました。ただ奈見さんがうまく話を引き出してくれ、良い雰囲気づくりもしてくれるのです徐々に慣れてきました。今ではラジオも楽しくお仕事させていただいている。

アナウンサーの仕事で印象に残っていることを伺うと「花火が打ちあがるような瞬間が一番樂しかった」と。例えば、たくさんのスタッフが準備をしてきた中、最後のカウントダウンを司会者が担当します。まずは成功した瞬間の皆さんのお顔や会場の一体感は、この仕事でなければ味わえません。

アナルサンサの仕事は、たくさんの方と出会えて、なかなか聞くことのできないトップの方々の人生経験を聞くことができたり。常に出会いと学びをさせていただきたいです。ここ数年携わっている、青森テレビの八戸三社大祭特番。元々八戸テレビ時代から山車組の皆さんにはお世話になっていますが、皆さんの祭りにかける思いや張り、現場のお話をいろいろな方に知つてもらいたいなと思っています。

19歳から始めたこの仕事。若手の司会者やリポーターがなかなか定着しないのを少し寂しく感じています。大変な仕事ではありますが、長く続けていよいよがいがあつてとても楽しいです。やつてみたい!と思つている若い方の背中を押してあげたい、と橋本さんは意気込んでいます。



国際的に活躍するダンサー・振付家の三東瑠璃さんのカンパニー公演と、自身の身体を探るワークショップを開催。



全国路地サミット2019 in 八戸

全国の路地関係者が集結するまちづくりサミットが、北海道・東北で初開催!



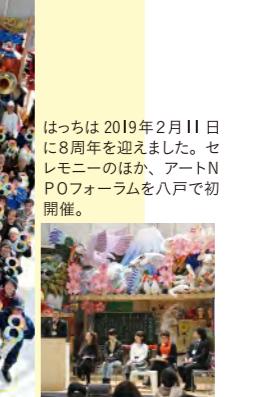
はっち来館者 800万人達成

開館から約8年で800万人を達成しました!これからも、市民の皆さんと一緒に歩んでまいります。



てんぼせんべい作り体験

せんべい焼き型を使い、自分で好きな具を選んでオリジナルのてんぼせんべいを作りました。



はっち8周年

はっちは2019年2月11日に8周年を迎えました。セレモニーのほか、アートNPOフォーラムを八戸で初開催。



ブレイクダンスバトル日本予選

ブレイクダンス世界大会の日本予選「World Bboy Classic Japan Qualifier」。たくさんの技が繰り広げられるダンスバトルは、迫力満点。



はっち8周年企画 大島亜佐子展「縫いものがたりたち」

2014年に八戸で滞在制作を行った映像作家・大島亜佐子さんが当時制作した、八戸のアニメーション「はっちのへごっこ『ハマネコ』」の原画展のほか、布や糸を使って描く「縫い絵」のワークショップを開催。



秋の「マチニワ山車展示」

秋の山車展示が初開催されました。この時期に山車が見られるのはレア! 夜にはお囃子実演も行われました。

2019

events report

2019年は、はっち8周年、マチニワ1周年など節目の年でした。はっち・マチニワで開催された注目の催し物をピックアップ!

street information まちなか情報

中心街では建設工事が進められています

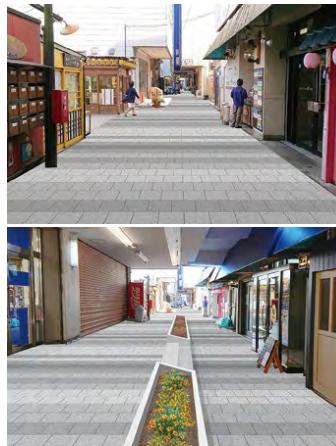
■花小路が生まれ変わります

中心市街地の三日町と六日町の間に東西に通る「花小路」。民有地でありながら歩行者専用の公共交通として多くの来街者に利用されてきましたが、2016年にガーデンテラスが、2018年には八戸まちなか広場「マチニワ」がオープンし、それまで一部通り抜けできなかった区間が通行可能となったことで利便性が向上し、これまで以上に多くの来街者が利用するようになりました。

そんな花小路ですが、段差が多く砂利敷の部分があるなど、歩行空間の改善について長年検討されてきました。この度、誰もが安全で快適に歩ける空間となるよう、路面の美化化やバリアフリー化の整備を行うこととなりました。

整備にあたっては、実施主体である花小路周辺地区まちづくり協議会や市と共に、八戸工業大学が基本設計を担当するなど官民学が一体となり、2020年春の供用開始を目指し整備を進めています。

花小路が整備されることで、中心市街地の回遊性が向上すると共に、隣接するガーデンテラスやマチニワとの相乗効果により、中心市街地の更なる賑わいの創出が期待されます。



花小路完成図（デザインはイメージです）

■八戸市新美術館及び周辺施設の建設着々と

2021年度の新美術館開館に向け、各種整備工事が着々と進んでいます。新美術館建設にあたっては、青森銀行と市が協力し、双方の敷地を有効に活用して、各種施設を整備することとしています。これに伴って、八戸警察署中央交番が市庁別館前広場の一角に移転し、現在は青森銀行八戸支店新店舗と新美術館の建設工事が同時に進められています。市庁別館 10階の展望回廊からは、各種工事が進む様子を伺うことができます。



整備が進むエリアの様子

今後、新美術館がオープンすると、はっちやマチニワ、八戸ブックセンターなどと連携したイベントや企画展の開催のほか、中心市街地の回遊性向上に繋がるような、さまざまな取組みが進められる予定です。

はっち topic はっちのおすすめ情報

2019年度の活動を振り返る「まちぐみ展」を開催

アーティストの山本耕一郎組長を中心に、八戸のまちに“なんか楽しそう”を作り出す市民集団「まちぐみ」の今年度の活動を紹介する「まちぐみ展5」を開催します。期間中の土日には、高校生が考案した南部せんべいスイーツを提供する「高校生と作る南部せんべいカフェ」もオープンします。昨年出店した「はっちのヘホコテン」では完売するほど大好評だったスイーツです。ぜひ遊びに来てください。

期間：2/29（土）～3/15（日）



ものづくりスタジオ、短期入居者募集中

はっち4階には、中心街への出店を目指すものづくり作家を応援する「ものづくりスタジオ」があります。ものづくりスタジオは、入居期間中にさまざまなビジネスのノウハウを学び、いずれ中心街へ出店することができるよう、低料金で入居できる工房兼ショップです。

現在、2週間から1か月程度の期間で入居を希望する方を募集しています。短い期間で気軽に「はっち」に出店できる機会ですので、興味がある方はお気軽にご相談ください。



八戸ポータルミュージアム「はっち」は

地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動をサポートする多様な設備を備えています。

八戸ポータルミュージアム はっち

〒031-0003 青森県八戸市三日町 11-1
TEL | 0178-22-8228 FAX | 0178-22-8808 WEB | <https://hacchi.jp>
開館時間 | 9:00～21:00 ※こどもはっち 9:30～16:30
休館日 | 毎月第2火曜日（祝日の場合その翌日）、12月31日及び1月1日
Facebook | facebook.com/hacchi8 Twitter | @hacchi_staff

【交通のご案内】

バス／八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き【約25分】

八戸中心街ターミナル（八日町）下車すぐ

鉄道／八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車【徒歩約10分】

航空機／三沢空港から八戸市内シャトルバス【約55分】

フェリー／八戸港フェリーターミナルから車【約15分】

車／八戸駅から車【約20分】

※一般駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

はっちリレーショナルプレス【はっちみつ】vol.35

発行：八戸市 まちづくり文化スポーツ部 八戸ポータルミュージアム
発行月：2020年1月 部数：15,000部 印刷費：1部あたり35.64円

information 市内施設情報

八戸市博物館

■企画展「えんぶり展・ひな人形展」

2/1（土）～3/15（日）

八戸の伝統芸能「えんぶり」に関する資料と、個性豊かな「ひな人形」をご紹介します。学芸員によるギャラリートークや、貝でひな人形を作る体験学習、2/18・2/19には史跡根城の広場でのえんぶり撮影会など、期間中は各種イベントを開催します。



① 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

② 月曜日（第一月曜日、祝日の場合は開館）

祝日の翌日（土・日曜日の場合は開館）、12/27～1/4

☎ 0178-44-8111

► <https://www.hachinohe.ed.jp/haku/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

■冬季企画展「是川遺跡の壺形土器」

～3/22（日）

広口や細口などさまざまな形がある壺。今から約3千年前の縄文時代晚期になると、美術品のようなデザインの壺が是川遺跡でつくられていきました。

本展覧会では、是川遺跡からみつかった壺形土器約850点から優品を厳選し、是川縄文人がつくった壺を紹介します。



壺形土器
(重要文化財 青森県は川遺跡出土)

① 9:00～17:00 (受付は16:30まで)

② 月曜日（第一月曜日、祝日の場合は開館）

祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は開館）

12/27～1/4

☎ 0178-38-9511

► <https://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸ブックセンター

■ギャラリー展 柴崎友香×滝口悠生

「アイオワ／八戸～作家が滞在するということ～」

～3/8（日）

アメリカ・アイオワ大学で行われている作家滞在プログラムについて、実際に參加した作家の柴崎友香さん、滝口悠生さんの写真や文章で紹介し、八戸での作家滞在の可能性について探る展示を開催します。



① 10:00～20:00

② 火曜日（祝日の場合は翌平日）

12/29～1/1

☎ 0178-20-8368

► <https://8book.jp/>

はっちのへまちなかアートラボ Co部屋

（新美術館建設推進室）

■コベヤでアートにふれよう！

「コベヤオープンデイ」

2/22（土）・3/28（土）13:00～16:00

新美術館開館までの間「Co部屋」ではアートのおもしろさを発信中！

全国の美術情報がご覧いただけるほか、毎月第4土曜日は「コベヤオープンデイ」として、簡単に体験できる創作ワークショップなどを開催。3月ははっちを会場に新美術館の活動を市民と一緒に考えるトークイベントを開催します。



① 10:00～17:00

② 土日祝日、12/29～1/3

☎ 0178-45-8338

► <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/>

